

平成29年度「奈良大立山まつり」開催支援業務 仕様書

I. 業務概要

(1) 業務名

平成29年度「奈良大立山まつり」開催支援業務（以下「本業務」という。）

(2) 業務目的

最も観光客が少なくなる冬季の宿泊観光客の増加を図るため、奈良県各地の伝統行事の披露や、あたたかい食の提供、こども縁日などを集結させた多彩で大規模なイベント「奈良大立山まつり」を平城宮跡で開催する。

イベント実施にあたり、来場者の防寒・安全対策、及び利便性に配慮した会場設営、シャトルバスの運行、会場警備等を実施することで、来場者の満足度の向上を図り、平城宮跡への来訪や県内宿泊の動機付けを行う。

(3) 委託金額

82,000千円以内（消費税及び地方消費税を含む）

(4) 委託期間

契約締結の日から平成30年3月31日まで

(5) 業務場所

平城宮跡及びその周辺

(6) 業務概要

奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会（以下「実行委員会」という。）の事務局の指示のもと、「奈良大立山まつり」が円滑に開催できるよう、実行委員会事務局が行う企画検討や事業計画の策定及び当日の進行管理、会場運営、関係機関への届け出書類作成を支援するとともに、会場設営、シャトルバスの運行、警備、案内サイン設置等の業務を行う。

平成29年度の奈良大立山まつりの開催予定は次のとおり。

○開催期間：平成30年1月26日、27日、28日

○開催場所：平城宮跡朝堂院（予定）

○想定来場者数：最大4万人程度／日

○実施内容

- ・県内各地域の伝統行事等の披露（20団体程度）
- ・立山まつり（広陵町大垣内立山祭など）の展示型催事のブースの設置（10ブース程度）
- ・県内全市町村のあたたかい食を提供するあったかもんグランプリ（40ブース程度）
- ・地域グルメ・物産品の販売（25ブース程度）
- ・地域のPR展示（10ブース程度）
- ・こども縁日（15ブース程度）
- ・家族連れのが楽しめるエンターテイメントゾーンの設置
- ・大立山の巡行

○主催：奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会

II. 業務詳細

①会場運営の支援

来場者の安全と利便性の確保、及びまつりの円滑な進行のため、実行委員会事務局が行う会場運営を支援すること。

②会場利用計画、実施計画、マニュアル等の作成

関係機関等への説明・申請のための書類及び会場運営等に必要な会場レイアウト図、会場利用計画、実施計画、警備計画、実施マニュアルなど、業務の遂行に必要な書類を作成すること。また、実行委員会事務局が行う検討会議に出席し、会議資料及び議事録の作成を行うこと。

③大立山の搬入設営、組立（動作確認を含む）、会場での維持管理

以下の場所に展示・保管している大立山を平城宮跡に搬入・設営し、最適な状態で使用できるよう維持管理を行うこと。また、「奈良大立山まつり」の終了後、速やかに撤去し、実行委員会が指定する展示場所及び保管場所に移動すること。運搬設置を円滑に進めるために必要な警備を行うこと。

- i) 持国天本体・・・県庁1階正面玄関ホール
- ii) 増長天本体・・・大淀町役場
- iii) 広目天本体・・・イトーヨーカドー奈良店
- iv) 多聞天本体・・・イトーヨーカドー奈良店
- v) 台座及び装飾部分・・・旧奈良県立御所東高校、県立競輪場

※イベント開始の3日前までに設置を完了すること。

※大立山の撤去後は、実行委員会が指定する場所（県内）に展示を行うこと。

※会場内での大立山の設置に要する養生を行うこと。

※補修の必要が認められた場合は、別途実行委員会が行う。

④会場設営

テント、トイレ、音響照明、発動発電機、ステージ、防寒対策、放送設備、エンターテイメントゾーン、看板（テント上看板を含む）、その他業務の遂行に必要な設備を設営し、運搬し、管理し、撤去すること。また、必要な電源は発動発電機を使用して確保すること。発動発電機には軽油を使用し、取り扱いの際は安全を確保すること。

飲食提供、特産品物販、こども縁日、市町村PR、立山展示、来場者休憩のテントは平城宮跡朝堂院内に一体的に展開（計100ブース程度を想定）する。音響・照明、ステージ、放送設備は、一体的に展開されるブースを効果的に演出、運営できるよう必要十分な数量を適切に配置すること。

会場内で大立山巡行及び市町村伝統行事の披露を行うため、地面への負荷を軽減するために必要な養生を施すこと。大立山巡行に必要な通路幅（横5m）を確保すること。

※来場者の安全対策と利便性に十分配慮した会場設営、管理体制とすること。

※会場設営、管理にあたっては、実行委員会の指揮の下、柔軟な対応を行うこと。

⑤運営スタッフの手配

業務の円滑な遂行や来場者の安全・利便性を確保するために必要な以下のスタッフの配置を行うこと。

- ・インフォメーションスタッフ（最低1カ所、常時2名配置（内1名は、英語通訳者とする））の設置
- ・救護所の設置及び看護師（イベント開催中常時1名）の配置
- ・運営スタッフ（イベント開催中常時30名程度）の配置

⑥警備、交通誘導の実施

会場利用計画等の計画に基づき、業務の円滑な遂行や来場者の安全・利便性を確保するために必要な警備員または交通誘導員を配置すること。

⑦シャトルバスの運行

会場利用計画等の計画に基づき、開催期間中、近隣駅と平城宮跡を往復するシャトルバスを運行すること。以下の運行想定を参考に、来場者の利便性に配慮した運行を行うこと。

運行想定：会場とJR奈良駅及び近鉄大和西大寺駅間を運行（小型バス）

⑧大型ビジョンの設置

会場内に、ステージイベント等の中継及び伝統行事や地域の観光情報を上映するための大型ビジョンと上映装置を設置し、運用すること。

台数：2台（ビジョン搭載トラックでも可）

仕様：200インチ以上・全天候型・LED

⑨衛生管理

会場内で発生するゴミ処理や尿尿の適切な処理及びトイレ等の衛生管理対策を行うこと。また、飲食ブースの残飯処理、食器・調理器具の洗浄等に適切に対応すること。

※会場内が残飯や洗浄後の汚水などで汚れないよう、液体用ゴミ箱やシンク等を十分に設置し、管理を徹底すること。

⑩イベントチラシの作成

来場者や近隣住民等に配布するためのイベントチラシ、及び会場内外のイベント案内看板（会場図、スケジュール等）を作成すること。

・来場者用チラシ：A4両面 フルカラー印刷 7万枚程度

・近隣住民、交通機関利用者用チラシ：A4両面 フルカラー印刷 3万枚程度

⑪記録写真及び動画の撮影

広報宣伝用素材として、出演する全ての伝統行事等、あったかもん等の出展ブース、エンターテイメントゾーンなど、「奈良大立山まつり」の全内容について、記録写真及び動画を撮影すること。

・写真サイズは1枚あたり2MB以上

・動画はWMV等の標準的な規格で、テレビ・デジタルサイネージ等で使用できる画質・音質とし、1コンテンツあたり30秒・60秒に編集すること。

・また、「奈良大立山まつり」のプロモーション動画（30秒・90秒の2種類）を作成すること。

⑫実行委員会事務局業務の補助

実行委員会事務局に連絡調整等の業務補助スタッフを常時配置し、下記の業務を実施すること。配置期間は平成29年11月1日から平成30年1月31日までの間とし、通算45日を目処とする。

- ・出演伝統行事、あつたかもんグランプリ等の出展者との連絡調整や交渉
- ・音響照明設備、会場設営、警備等での専門的な知見に基づいた助言
- ・イベントスケジュールの管理、広報機関等への情報提供、広報媒体管理
- ・運用マニュアル、動員者マニュアル等の各種マニュアルの作成補助

⑬特記事項

関係機関等との協議結果や天候などにより仕様が変更になったときは臨機応変に対応すること。また、著作権等調整が必要な権利関係が存在する場合は、受託者は必要な調整を十分行い、万一、損害等が生じたときは、受託者の責任と負担において補償等を行うこと。また、著作物の使用にあたって使用料等が必要な場合は受託者の負担とする。

⑭打ち合わせ

本業務を履行するにあたり、必要に応じて協議を実施する。

Ⅲ. その他の事項

(1) 成果品

成果品は次のとおりとする。

- | | | |
|---|----------------------------|----|
| ① | 業務完了報告書（発注者が指定する様式） | 1部 |
| ② | 実施結果報告書（実施計画を含む） | 1部 |
| ③ | ①②の電子データ一式 CD-R | 1部 |
| ④ | イベント実施写真(広報宣伝写真)データ一式 CD-R | 1部 |

(2) 著作権等

本成果品の著作権は発注者に帰属する。